

研修報告書 No.10

研修先： 梶原病院、杉ノ川診療所

1月4日から1月31日まで梶原病院および杉ノ川診療所で研修をさせていただきました。

初日高知龍馬空港まで医療再生機構の方が迎えに来てくださり、車で梶原病院まで送迎していただきました。道中、町の景色がどんどん変わっていき、「あの山を越えたところで梶原病院があります」と言われた時には一体どんな所にあるのかと不安を掻き立てられました。なにせ「雲の上の町」である梶原町にある病院で、本当に山の中に町があります。四方を山に囲まれており、町中を流れる梶原川は本当に綺麗です。この自然豊かな環境で一ヶ月研修させていただけることに期待が膨らむと同時に、自分がこれまで医師として勤務していた環境とは全く異なる土地で、どういう貢献ができるかと一抹の不安もありました。ですが、初日にご挨拶に伺ったときから、院長先生はじめスタッフの先生方、事務の方々がとてもサポーターに接してくださり、仕事がしやすい環境を作っていただきました。

病棟業務では上の先生について担当医に登録していただき、日々診察、カルテ記載を行い、内科診療の勉強をさせていただきました。特に東京で自分が経験していた病棟業務とは違い、common disease が非常に多いため、基本的な内科スキルの向上を図ることができました。また、東京では経験していなかったこととして、内科一般外来があります。救急外来は経験させていただいたことがありましたが、日中の内科外来は研修医では経験できないことが多く、今回梶原病院で初めて経験することが出来ました。初診の患者さんに対し自分で診察し、所見を取り、上の先生に確認して処方を出すといった一連の流れを経験させていただきました。検査に関しても東京ではエコーなどは技師さんをお願いしてしまうことが多いですが、梶原病院で心エコー、腹部エコーなど自分でやらせていただきました。ここでも上級医の先生が丁寧に指導してくださり、大変ありがたかったです。また地域ならではの特徴として、内科外来であっても創傷処置など外科的なことも行うことがあります。院長の池田先生は創傷処置に非常に意欲的に取り組んでおられ、処置の経験は梶原病院で格段に増やすことが出来ました。毎日のように治療・処置の変化（効果）を見ることができるので、行った治療とそのアウトカムが有機的に繋がり理解することができました。

今回の地域医療研修では梶原病院だけでなく、診療所も経験させていただきました。四万川診療所、松原診療所、杉ノ川診療所で業務を体験させていただきました。全てに共通して感じられたのは、来院される患者さんが診療所があることに対して、また医療行為を受けられることに対して非常に感謝されているということです。病院が数多くある東京と違い、診療所の周りに住まれている患者さんは、その診療所がないと医療行為が簡単には受けられなくなってしまうと思います。そういう意味でやりがいを感じると同時に非常に責任が重い環境だと感じました。

また医師と医療スタッフとの間の垣根が非常に低いということも総じて感じられました。東京の大きな市中病院や大学病院では科ごとの縦割りであることが多く、コンサルトするのも壁があるときがあります。また医師と医療スタッフで仕事の割り振りで衝突があることもあります。そういった環境でこれまで働くことが多かったため、医師、医療スタッフの連携がとてもスムーズになされており、互いが互いを支える空気が自然と醸成されていることが非常に素晴らしいことだと感じました。

今回の研修中、歓迎会や送迎会、また高知市内での飲み会などを開催していただき、とても嬉しく思いました。高知県は海、山の恵みを享受できる県であり、また豊かな歴史を持つ県でもあります。休日には様々な名所や史跡も堪能することができました。高知出身でもなく、一ヶ月しかいない自分に対し大変優しく接していただいた先生がた、医療スタッフの方々、事務の方々、またこの地域医療研修を手配して下さった医療再生機構の方々、大学病院の方々に心より感謝いたします。一ヶ月間ありがとうございました。